



2020 年度 卒業生アンケート 結果報告

郡山女子大学編（抜粋版）

目次

1. 調査の概要.....	1
2. 回答状況について.....	2
3. 卒業後の就職状況について.....	2
4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの.....	2
5. 大学時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか.....	3
6. 大学時代に身につけておくべきであると思うもの.....	3
7. 卒業生から在校生へのメッセージ.....	4

1. 調査の概要

・調査目的

卒業後3年が経過した卒業生へアンケートを送付し、定着状況や当時の就職支援について回答してもらい、今後の就職指導および学習指導の参考とする。

・調査対象

郡山女子大学の平成29年度卒業生

・アンケート期間

令和2年7月27日～令和2年9月18日

・送付数

大学84名（内訳：人間生活学科19名、食物栄養学科65名）

※6名が未達返却

・回収率

26名（33.3%） ※未達分を除いて回収率を算出

内訳：人間生活学科4名、食物栄養学科22名



2. 回答状況について

平成29年度就職決定者（2018年3月卒業）は84人おり、全員を対象として発送したが、返送があった人数は、26名となっている。

回答率は発送人数に対して33.3%（前年度20.0%）である。

3. 卒業後の就職状況について

回答があった26名に関して、卒業後就職した勤務先で働いているかと尋ねた。学生の約70%が継続勤務を行っており、概ね就職サポートは非常に良好であるといえる。

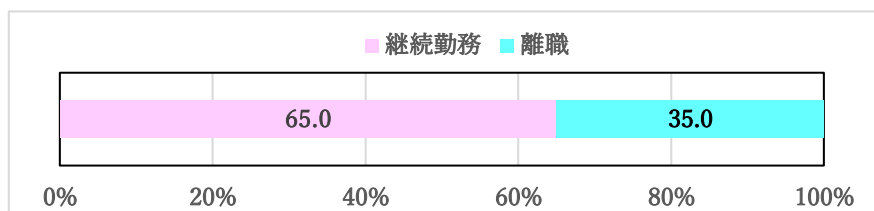


図1. 勤務状況

4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの

就職活動後に自分に不足していたものを12項目で評価してもらった。項目は、「企画力・創造力」、「問題解決力・分析力」、「判断力」、「データ処理力・事務処理能力」、「ストレスコントロール力」、「リーダーシップ」、「協調性」、「幅広い教養」、「英語力」、「プレゼンテーション力」、「特にない」、「その他」とした。

結果は、「問題解決力・分析力」が多く、実際の職場で問題解決がうまく出来ないことやできないことでストレスを感じてしまうことなどを挙げたのではないと思われる。判断力やデータ処理力・事務処理能力、教養などは、実業務を行っている中で、もう少し出来たらなどの公開があったと推測される。大学在籍時に積極的にインターンシップ等で希望する職種の実査の業務に触れておくことが解決の方法として挙げられる。すべてを解決するには時間が足りないと思われるが体験し考え、能力を身に付けてもらえるよう取り組んでいく必要がある。

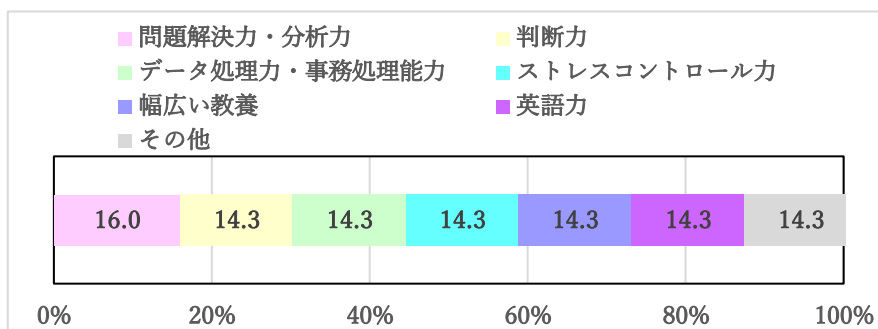


図2. 就職活動を終えて自分に不足していた能力



5. 大学時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか

専門分野を活かした就職ができているかを確認するため、「大いに関連がある」、「やや関連がある」、「あまり関連がない」、「全く関連がない」の4択で評価してもらった。結果は、「関連がある」、「やや関連がある」あわせて約80%の学生が専門分野を生かした就職をしているという結果だった。

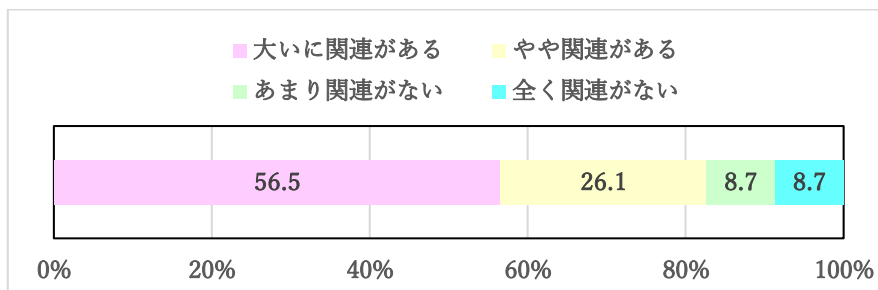


図3. 専門分野と仕事との関連

6. 大学時代に身につけておくべきであると思うもの

「専門知識」、「分析力に考察する力」、「新たな知識を素早く身につける力」、「プレッシャーの中で力を発揮すること」、「時間を有効に使う力」、「他の人と効率よく仕事をする力」、「他の人の知識や能力を結集する力」、「意図を明確に伝える力」、「リーダーシップ」、「パソコン技術」、「新たなアイデアや解決策を見つけ出す姿勢」、「文章能力」、「その他」に分けて確認した。意図を明確に伝える力と文書能力について身に付けておくべきだったとの回答が多い。これは、仕事に就き、やり取りした際にうまく表現できず苦勞したことを思い出し選択したものと推測される。他に分析力や時間を有効に使うことが挙げられた。何が原因で起こったことなのかなど考えされる学修は行われているが、実際の職場では複合的な要因も多いことから分析力を選んだと思われる。また、機器分析などの分析時間中に別作業を行うなど、並行作業をするという経験は、なかなか学業だけでは体験しにくいいため、インターンシップ等の実践的な学修を増やしていく必要がある。

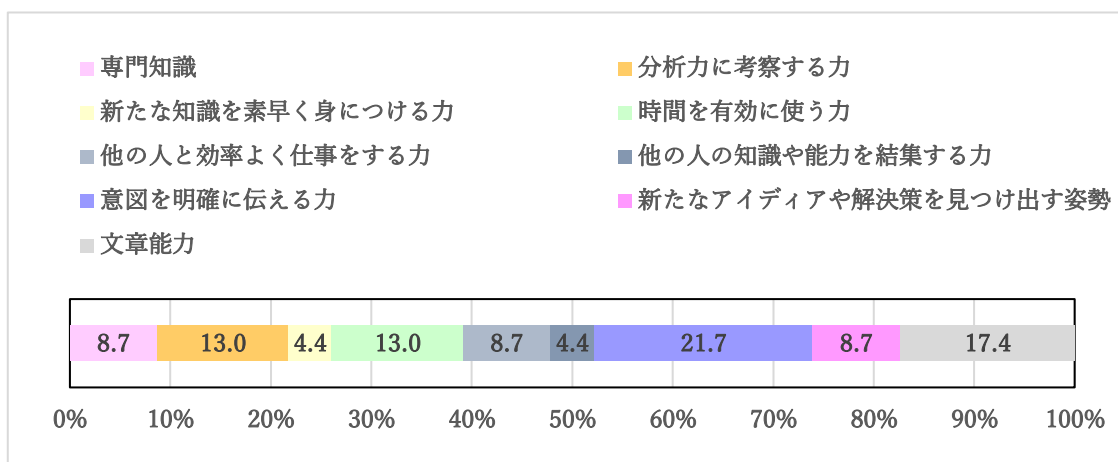


図5. 身につけておくべき力



7. 卒業生から在校生へのメッセージ

最後に卒業生より、在校生へのメッセージをいただいた。

学生時代に得た知識や技術は、社会に出て必ず役に立ちます。なので、今学んでいる事に一生懸命に取り組み、今しかない学生生活を楽しんでください。

知識・能力も大切ですがそれ以前にコミュニケーション能力と上下関係、礼儀が大切と実感しました。緊張や不安から縮こまりがちですが、大きな声で話すこと、笑顔で話すこと、自分の考えをきちんと伝えることも、とても大切と思いました。

管理栄養士・栄養士は沢山の道があると思います。興味のある方は連絡を取り見学をいくことをオススメします。一緒に働く人の人柄雰囲気、仕事内容など見えてくるものがあると思います。質問をまとめてノートに書いていくと、人事の方にもアピールになると感じました。実際に熱心だねなどの言葉をかけてもらいました。頑張ってください!!!

思うような活動・行動が出来ない世の中ですが、あきらめずに自分のやりがいを持ってできる仕事に出会えることを祈っています。

今は転職が当たり前の時代ですが、より長く勤められるような就職先に出会ってほしいと思います。

働くにあたって1番重要なものは、知識や学力よりもコミュニケーション能力だと思います。どの歳の方ともうまくやれる術を学んでおくことが仕事を長く続けるコツです。

管理栄養士の国家資格はあるととても良いです。

不安なことも多く悩むときは、いろんな方に助けを求めてみてください。良い道が見つかることを応援しています。

公務員を目指す方は、早いうちからコツコツ勉強してください。
学生時代にしか出来ないことがあるから、悔いが残らないようにして下さい!!

私は実際に就活をせずにとりあえず国試を受けて資格を取ることを重視しました。実際に国試は合格し、働きたい病院を探しながら仕事はしていましたが、今は病院の管理栄養士として働いています。就職は「とりあえず」で決めるべきではないと思います。